

参考4 モバイル部門最終選考ノミネート作品一覧

名 称	概 要	関連サイト	備 考
「いちはや」システム	iPhone/ipodTouchを車両等に取付け、アプリを起動させ一定間隔で撮影された画像＋位置情報をサーバにリアルタイム送信し、遠隔地のパソコンでも、位置情報及び撮影画像を電子国土に表示できる一連のシステムです。 また、帰庁してから撮影写真・位置情報のデータをモバイルからすいあげ、他のシステムにて利活用します。	http://www.zivil.co.jp	有償(価格は規模により変動)
東京時層地図	東京時層地図は、近代測量の黎明期にあたる明治初期の地図から現在までの地図や空中写真等をiPhone・iPadに表示する地図アプリケーションです。収録範囲にはほぼ東京23区が含まれていて、政治・経済の中心である霞ヶ関・丸の内・新宿や若者文化の渋谷といった地域から高度経済成長以降著しく都市化が進んだ郊外まで変遷を、一定の精度のもった地図を用いて知ることができます。	http://www.jmc.or.jp/app/iphone/tokyo/	有償(価格1,900円)
マップリンク	まっぷる読者限定のガイドブックと連動した無料スマートフォンアプリです。 旅やお出かけの際、ガイドブックでプランニングした見どころやお店をお気に入り登録しておけば、ガイドブックを開かなくてもスマートフォン上で手軽に詳細情報や地図を確認することができます。 また、付属する街歩きマップはダウンロード型ですので、通信環境が不安定な中でも安心して現在地や目的地のおおよその方向を確認することができます。	http://ma1.mapple.net/review/	無償(対象ガイドブック読者限定)
ArcGIS for Smartphonesを利用した施設台帳管理システム	平常時から利用しているスマートフォンで、クラウド化した施設台帳管理システムを閲覧、編集することで、現場での施設管理業務の効率化を図るシステムです。	http://www.esri.com/products/arcgisforsmartphones/	無償
FieldAccess	iPhone、iPod touch、iPad向けの、電子国土および数値地図ビューアです。 “地形図ビューア”として、モバイル端末上で電子国土の各種背景地図を表示でき、GPSを用いて現在地の表示、トラックログの記録と表示、特定位置をピンでマークする、などの操作が可能です。	http://dendrocopos.jp/fieldaccess/	有償(iPhone版350円、iPad版450円) ※平成24年5月より東北太平洋岸地域に限定した無償版も提供
QZS Prove Tool	準天頂衛星初号機を用いた民間利用実証向けモバイル・データ・コレクタ機能を有し、SPACが貸出しているQZSR受信機の観測データを、閲覧、保存及びシリアル出力を行うシステムです。 QZS L1C/A、L1-SAIF、IMES各信号に対応しており、現時点で唯一のツールです。	http://www.aisantec.co.jp/products-services/qzs_prove_tool/	無償で提供している[basic]と、有償で提供している[ex]があります。
μ ファイルGEO	記憶媒体(microSD、USBメモリ、HDD、CD-R/DVD-R、Webサーバ)から直接起動し、GPSによる緯度経度情報と検索キーワードで位置情報付きデータ、添付資料等を検索できる位置情報検索ツールです。Android、iOS、Windows上で動作し、スマートフォン、タブレットPC、PC等ハードウェアにも依存しません。電子国土の地図を参照情報として利用します。	http://webapp.nakasha.co.jp/site1/services/mu-file-geo.html	有償(カスタマイズ費別途) ※カスタマイズ無し、GPL許諾の場合は無償提供(配布サイト準備中)